

# 採算 環境 安全 リニア阻止でつながろう

## リニア問題学習交流会 党愛知県委

日本共産党国会議員団  
東海ブロックニュース

2016年  
11月8日②  
第23号②

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所  
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号  
電話 〇五二(二六四)〇八三三  
FAX 〇五二(二六四)〇八五〇  
Eメール tokaihb@cpjpb.ne.jp

「事業の根拠も示せず、本格工事も始まっていない。沿線住民とつながって阻止して欲しい」。

本村伸子衆院議員は6日、党愛知県委員会が名古屋市内で開いたリニア問題学習交流会で呼びかけました。初めて話を聞く人も含め120人を超す人が熱心に耳を傾けました。

### 国会論戦から問題点を紹介 本村議員

JR東海のリニア中央新幹線事業に計3兆円の財政投融資を投入する議案が、わずか1日で衆院国交委員会を通過、JR東海は、住民の納得には程遠い説明で工事を強行しようとする



る事態が続いています。

本村氏は、国会論戦の中で明らかにした問題点として、採算、環境保全、安全など様々な面で根拠が示されていないことを列挙しました。

本村氏は、建設費の裏付け資料はいいかげんで、財投を審議する財政審は開かれず、貸し付ける鉄道・運輸機構は、JR東海と出向しあう関係でまともな審査は期待できないこと、大地震の時の断層のずれは「個別に評価していない」と答弁したことなどを指摘しました。

### 交通、立ち退き 各地から報告

また、県内で初めて残土置き場候補となった珪砂(けいしゃ、ガラスの原料)採掘跡地、通称「瀬戸のグラウンドキャニオン」がある瀬戸市の「瀬戸リニアを考える会」と、残土が掘りだされる現地の「春日井リニアを問う会」から、1分で4台のダンプが通学路を走る可能性がある問題などが報告されました。

「中村リニアを考える会」からは、リニア名古屋新駅のために立ち退きを迫られ、苦悩する住民の声が報告され、「リニアを考える愛知県連絡会」からは、県内の運動の状況について発言がありました。

会場からは次々と手が上がり、疑問、心配などが話されました。

### 岐阜、三重県委 次期衆院選の候補者を発表

党岐阜県委員会は4日、党三重県委員会は5日、それぞれ、次期衆院選の小選挙区候補を発表しました。いずれも新人です。同時に、両県委員会は、野党と市民の共同する統一候補の擁立を目指します。

#### ▼岐阜県

- 1区 山越 徹(46) || 岐阜地区准地区委員
- 2区 森桜 房義(59) || 西濃地区委員長
- 3区 服部 頼義(58) || 岐阜地区委員長
- 5区 小関 祥子(63) || 東濃西地区副委員長、前土岐市議

#### ▼三重県

- 1区 橋本マサ子(70) || 中部地区常任委員、前名張市議
- 2区 中野武史(42) || 北勢地区委員長
- 3区 野村真弘(60) || 東員町支部員
- 4区 田邊ひとみ(55) || 中部地区委員、前明和町議
- 5区 宮本幹生(60) || 南部地区副委員長、元松阪市議

### 13日投票 恵那市議選、豊橋市長選

6日告示された岐阜県恵那市議選(定数18 2減、立候補22人)は、現職の水野のりみち、遠山信子の両候補が現有2議席確保をめざします。

また、愛知県豊橋市長選では、党東三地区副委員長の、くしだ真吾氏=無所属、新、党推薦=が立候補、現職との一騎打ちです。